

百里初午まつり 2022

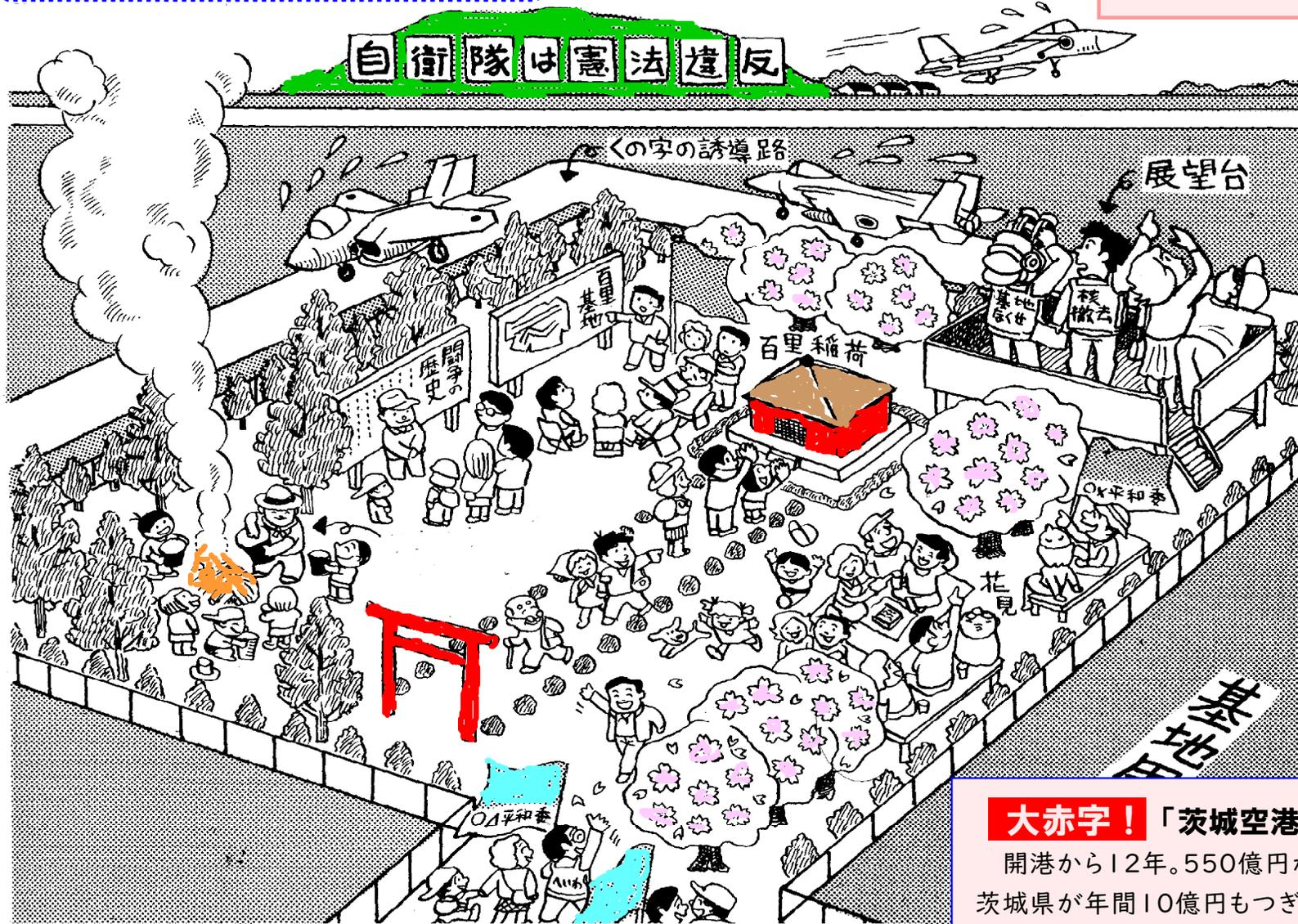
50年以上変わらずに続く百里初午まつりの時季がまた巡ってきました。平和を愛し、平和憲法を守り活かし、百里基地撤去を目指す人々が、基地の真ん中に鎮座する百里平和稲荷の御神酒を酌み交わしながら、賑やかに語り合うお祭りです。

2月11日

平和公園

12時より
*11時から
・模擬店・歌声

感染防止対策を
お願いします



◆主催◆ 百里基地反対同盟
◆問合せ先◆ 茨城県平和委員会 水戸市見川5-127-281
TEL/FAX 029-251-2806 i-peace877@silk.plala.or.jp

大赤字!「茨城空港」は目の前
開港から12年。550億円かけて建設し、茨城県が年間10億円もつぎ込んで維持しています。「ターミナルビル」は、平和公園の目の前です。



百里をみて、九条の意義を感じて 平和を考えてください

見学用のリーフレットがあります

百里の闘いと言えば、基地のご真ん中であって誘導路を「くの字」に曲げている「百里平和公園」が世界の名物になっています。平和公園からは、アメリカの世界戦略に深く組み込まれ、米軍との共同訓練も行っている戦闘機が目の前で右ハンドル左ハンドルと、「くの字」に曲がって行く様子を見ることができます。日本国憲法九条のもとで「自衛隊は憲法違反」を掲げて闘ってきたからこそ、この平和公園をつくることができました。平和公園に立てば、憲法九条の存在意義を実感することができます。2020年に、百里を見て、感じて、平和を考えてもらうために、新しいリーフレットを作成しました。

[詳しくはweb、「百里基地反対運動」で検索を!](#)



平和公園がきれいになりました

「自衛隊は憲法違反」の看板も丸見えに!

誘導路を「くの字」に曲げている百里平和公園。手弁当の有志によって2016年から整備作業が行われてきました。2017年からは毎月2回ペースで、50回を超える作業が行われました。草刈りだけでなく、建物の修繕や片付け、樹木の剪定なども行い、見違える!ようにきれいになりました。2019年からは平和公園の維持管理のために設立された「一般社団法人 百里の会」によって、維持管理と整備作業が進められてきました。

平和公園から滑走路を挟んだ向かい側に「九条の丘(射撃場)」がありますが、そこに1976年に設置された「自衛隊は憲法違反」の大看板が立っています。

2020年3月に国会で当時の安倍首相にも自衛隊員の士気をそぐと指摘された看板ですが、私たちの除草作業と基地側の樹木の伐採によって、平和公園からも基地のエプロンからも、茨城空港を発着する旅客機からも、大変よく見えるようになりました。

現在、看板の建替作業中です。



米軍基地を守る戦闘機部隊

米軍機との訓練が行われる
オスプレイもやって来る

2016年にF15戦闘機の飛行隊がF4ファントム戦闘機の飛行隊に交代しましたが、2020年からはそのF4ファントム戦闘機が順次退役し、国産戦闘機であるF2戦闘機の飛行隊が新たに配備されています。長年配備されていた偵察飛行隊も2021年3月に廃止され、百里基地の戦闘機も大きく変わりました。しかし、現在もF2戦闘機など約30機が実戦配備され、毎日激しい訓練が行われていることに変わりはありません。百里基地は「首都防空の基地」とされていますが、首都圏にある横田・厚木などの米軍基地の防衛が重要な任務です。1989年からは日米共同使用基地となり、2007年からは沖縄の負担軽減に伴う米軍機の訓練移転基地となり、米軍機の訓練に使用されています。2021年8月からは危険な欠陥機オスプレイの訓練基地にされました。



戦闘機と旅客機が交錯する

茨城空港

茨城空港は知っているけれど、そこが航空自衛隊の戦闘機基地である百里基地の一部だということはあまり知られていないようです。

2010年3月に開港。550億円かけて建設し、茨城県が年間10億円以上もつぎ込んで維持しています。「ターミナルビル」は、平和公園の目の前。民間空港といっても百里基地内にあるので、管制や管理は自衛隊が行い、空港建設に伴って増設された西側の滑走路も自衛隊機が使い放題になっています。2本の滑走路の間隔も通常より狭く、危険で金食い虫の欠陥空港です。

現在、茨城空港のために不要不急の道路建設が進められています。国道6号「石岡バイパス」をいつの間にか「百里飛行場連絡道路」に変更しました。さらに190億円もかけて常磐道からのアクセス道路が建設されました。

